

つなげよう つながろう
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるための情報紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

いわき市南台応急仮設住宅に植えられた花の写真です

- ▶ 白河情報連携会～情報共有から人がつながる～(P2)
- ▶ 双葉町歴史探究 in 双葉中学校 ～歴史・文化の深い町～ (P3)
- ▶ 役場のお仕事紹介します!【第2回】(P4～5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ ホールボディカウンタ検査を受けてみました!・町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>



情報共有から 人がつながる 白河情報連携会

情報連携会はじまりました！

白河地区にて情報連携会がスタートしました。情報連携会とは、コミュニティの中で起こりうる問題をみんなで把握し、その解決の糸口を見つける場です。この会議を介して、仮設・借上げ住宅自治会、保健師、双葉町社会福祉協議会、白河警察署、絆支援員派遣会社、双葉町役場、ふたさぼ(復興支援員)など、たくさんのお組織が連携することによって、より強固な協力体制を築いていきます。

4月15日の第1回情報連携会では、会議のルールが確認されました。「一方的に要求・要望をする場ではない」「個人情報特定されるようにしない」「会議内容は広く周知する」といったルールが参加者全員のお互いの合意のもと決められました。

みんなの「きほんじょう」を知る

5月20日には第2回情報連携会が行われ、前回確認したルールの下、各団体から情報共有が行われました。

白河警察署からは、なりすまし詐欺について

てお話していただきました。「電話で家族構成を聞いてくる。あやしい電話があった場合は、すぐに白河警察署に連絡してもらいたい。また不安をおもえる電話があった際には、まず周囲の方に相談してほしい」と注意喚起をしていただきました。

双葉町社会福祉協議会からは、「町保健師と連携して白河地区全体の方々のケアをしている。また各地域の社協ともつながっていて、介護保険などの相談の体制がある」とお話ししていただきました。

情報共有から協力体制を生み出す

「みんなで情報共有していくことで解決できることもたくさんある。こういった会を通じて、地域に溶け込んで生活していく方法を考えていく必要がある」といった会議の意義についても意見が出されました。

白河地区では、情報連携会を通じて、地域に住んでいる方々がお互いに生活しやすい環境を生み出していくことを目指していきます。

会議での主な情報

| 項目 | 内容 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イベント・サロン | <ul style="list-style-type: none"> ・社協健康サロンが火曜日午前中に変更(社協・保健師) ・8月3日に白河市のお祭りに参加予定(自治会) |
| 安全・防犯 | <ul style="list-style-type: none"> ・シートベルト未着用での死亡事故多発(白河警察署) ・なりすまし詐欺に対する注意喚起(白河警察署) |
| 広報 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報ふたば、ふたばのわ記事募集(双葉町役場・ふたさぼ) ・FMいわきでのお知らせ募集(双葉町役場) |
| 業務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・社協・保健師は連携して白河地区全域で活動(社協・保健師) ・イベント日程、内容の調整(社協・保健師) |

双葉町歴史探究

～歴史・文化の深い町～ in 双葉中学校

双葉町の歴史にふれる

5月14日、4月に開校した双葉中学校にて双葉町の歴史を学ぶ時間が持たれました。中学1年生の総合学習の時間を使って行われた授業の講師は、双葉町歴史民俗資料館の学芸員をされていた吉野高光さん（現双葉町教育総務課）。授業は生徒の司会進行で進められ、参加した生徒4人は熱心に吉野さんのお話に耳を傾けていました。

福島県で一番古い貝塚

双葉町には、福島県で一番古い貝塚があります。郡山地区の正八幡神社付近にあるこの貝塚からは、35種類の貝類や15種類にも及ぶ魚類の骨が発見されています。アジ、イワシ、ヒラメといったおなじみの魚から、フグやサメといった調理捕獲が困難な魚も発見されています。さらにはマグロの骨も見つかっています。



熱心に講義を行う吉野さん

おり、遠洋漁業を実施していた可能性もあることがわかっています。また、貝塚からは土器も見つかっており、その模様が埼玉県で発見されている土器と非常によく似ています。これは、この時

代に関東周辺の人々との交流があったことを示しています。吉野さんが持参した土器に生徒たちがふれ、直接歴史を感じる場面もありました。

双葉町は郡役所所在地だった

奈良時代から平安時代にかけて、東北地方の太平洋沿岸の地域には『陸奥の国』がありました。陸奥の国には36の郡があり、現在の浪江町から大熊町辺りは標葉郡と呼ばれていました。標葉郡は4つの郷から成り立っており、双葉町のあたりは標葉郷という名称で呼ばれ、郡の役所が設置されていました。これは、米蔵の屋根瓦が双葉町で見つかっていることから考えられています。



鎌倉時代に標葉郷を統治していた標葉氏に代わり、室町時代後半から江戸時代にかけては相馬中村藩の統治となりました。相馬中村藩は国替えもなく、この地域に根付い



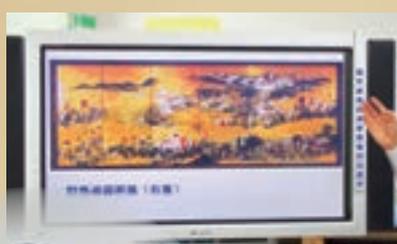
た大名でした。現在も相馬地区の伝統行事のひとつとなっている『相馬野馬追』は、野生の馬を捕まえるという相馬中村藩の軍事訓練でした。深い伝統は、こういった歴史背景からも感じ取ることができます。

双葉町の名前の由来

講話が終了したあとに、生徒から、「双葉町の名前の由来はなんですか?」という質問ができました。

町の名前は、昭和31年に双葉郡の名前をもとに、標葉町から双葉町と改めました。名前のもとになった双葉郡は、明治29年に標葉郡と標葉郡が合併してできました。郡の名前は標葉と標葉の「二つの葉をとって、双葉と命名されました。

双葉町には、深い歴史と文化が残っています。この歴史が学校を通じて、未来に語り継がれていくことが期待されます。



役場のお仕事紹介します！第2回

復興推進課

こんな業務を担当しています！

双葉町の復興に向けた計画の策定・推進や復興公営住宅を始めとする町外拠点の整備について企画立案、国や県、関係市町村と調整を行っています。

また、福島第一原子力発電所の廃炉の取組みの監視のほか、原子力発電所事故に伴う損害賠償の相談や町弁護団の調整を行っています。

町民のみなさまへ

ふるさと双葉町の将来を町民のみなさまとともに考え、実行していくことが復興推進課の役割と考えております。“町民一人一人の復興”と“町の復興”を目指して取り組んでまいりますのでみなさまのご意見をお願いします。また、賠償問題についてもお困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5203 ✉fukko@town.futaba.fukushima.jp



産業建設課・農業委員会事務局

こんな業務を担当しています！

双葉町内の道路、河川、下水道、農業用施設などみなさまの生活基盤の復旧・復興と維持管理を行っています。また、避難先での営農再開支援などの農業振興、相馬野馬追などのイベント事業などによる観光振興、商工業の支援、農地の利用関係の調整等を行う農業委員会の事務局など広範囲に渡る業務を行っています。

町民のみなさまへ

復興元年の年として、双葉町内の一部災害復旧事業に着手するなど、安全で安心な町の復旧復興を進めてまいります。また、相馬野馬追、ダルマ市など伝統行事の支援、避難先での営農再開、商工業の事業再開支援などを行い、町の復興、みなさまの生活再建のため、課員一同固いチームワークで頑張っていきます。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5209 ✉sangyo-k@town.futaba.fukushima.jp



教育総務課

こんな業務を担当しています！

学校教育に関することや生涯学習事業などを行っています。4月1日には、4年ぶりに幼稚園・小・中学校を開校しました。生涯学習事業では、生活学級（生きがい講座・郷土文化教室等）を開催し、絆を深める場を設けています。また、町民のみなさまの大切な財産である文化財等の保存・継承の業務に取り組んでいます。

町民のみなさまへ

7月末にいわき市錦町御宝殿地内に仮設校舎が完成する予定です。双葉町復興のシンボルとして、学校教育を推進してまいります。今年度は、「双葉町教育ビジョン」に基づき、京都府京丹波町との小・中学生の交流事業を計画しています。また、生活学級やふたばっ子学習支援事業等を継続してまいります。歴史文化の継承として「ふたばの昔ばなし」の復刻版を印刷して町民のみなさまへお配りする計画ですのでよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5210 ✉kyouiku@town.futaba.fukushima.jp



お気軽にお問い合わせください。



双葉町の未来のために職員一同、力を合わせて頑張ります。

健康福祉課

こんな業務を担当しています！

健康福祉課では、福祉介護係として介護保険の認定調査や児童福祉・児童手当、身体障害者福祉に関する業務、また、社会福祉協議会を通じて生活支援・介護予防事業、サポート事業、地域包括支援センター事業、健康支援事業を実施しています。健康づくり係としては、健康管理等の指導、総合健診・がん検診の実施や母子保健事業、各種予防接種に関する業務、さらに内部被ばく検査等を行っています。国保年金係は、国民健康保険と後期高齢者医療保険の加入、喪失手続き、被保険者証及び免除証明書の発行、国民年金の免除等の手続きなど、課員一同、保険・医療・福祉体制の確保に取り組んでおります。

町民のみなさまへ

町民のみなさまの健康に関する一番大切な業務を担当しておりますので、長期的な避難生活の中で関係機関と連携を図りながら、各方部での健康相談、介護予防事業などの健康対策、窓口における諸手続きの丁寧なご案内に努めてまいります。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5205 ✉kenko@town.futaba.fukushima.jp



議会事務局

こんな業務を担当しています！

議長の指示により、議会の事務を担当しています。議会議員に関する事や会議の議事運営、会議録の調整、調査などの業務を行っています。

町民のみなさまへ

議会事務局の職員は 2 名ですが、議会が十分に活動できるよう今後ともサポートをしてまいります。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5211 ✉gikai@town.futaba.fukushima.jp



生活支援課

こんな業務を担当しています！

生活支援課はいわき事務所、郡山支所、埼玉支所の3つの事務所から成り立っています。いわき事務所、郡山支所は県内 9 カ所の応急仮設住宅の維持管理及び入居者の健康支援等、埼玉支所も福島県内と同様に埼玉県内に避難されている町民のみなさまの健康支援等に関する訪問・相談を行っています。また、福島県内外の自治会組織の設立及び活動支援を行っております。

町民のみなさまへ

健康支援等や自治会組織の設立や活動支援について、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 ☎0246-84-5200 ✉seikatsu@town.futaba.fukushima.jp



ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



4月22日
白河みみずくの会
お花見(白河市)



4月23日
ママサロンinなこそ
(いわき市)



4月24日
なこそ交流スペース
双葉町サロン
(いわき市)



4月26日
いわき・まごころ双葉会総会
(いわき市)



5月1日
いきいきサポートセンター
手芸教室(加須市)



5月1日
サポートセンターひだまり
にこにこサロン(いわき市)



5月2日
いきいきサポートセンター
玉敷公園散策(加須市)

5月3日
騎西藤まつり(加須市)



5月5日
植田歩行者天国(いわき市)



5月9日
県北ふたば会交流会(福島市)



5月15日
いきいきサポートセンター
ミシン教室(加須市)



5月20日
南相馬ひだまりサロン
(南相馬市)

ホールボディーカウンタ検査を受けてみました!



ホールボディーカウンタ検査（放射線内部被ばく検査）は、日常生活の中で大気や飲食物などから体内に取り込んだ放射性物質（セシウム）を測定し、1年の間に受けると思われる放射線量を推計する検査です。

今回、双葉町いわき事務所にて、検査を受けてみました。



手のひらや足の甲なども測定



立ったまま2分待ちます
おしゃべりしながらでもOK

検査は着替えの時間を入れても15分程度

検査の流れ

1 申し込み

2 着替え

3 体表面の測定

4 ホールボディーカウンタ測定

5 着替え

6 検査結果受け取り・説明

【検査できる場所】

双葉町いわき事務所・埼玉支所（土日・祝日・年末年始を除く）
ひらた中央病院（月曜日午後のみ）

【お問い合わせ先】

健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

無料で検査できますので、みなさまの長期的な健康管理のためにもぜひ検査を受けてください。一時立ち入りの前後に受検されることをおすすめいたします。

町からのお知らせ

交流会

かしまで集まっ会に参加しませんか？

南相馬市では双葉郡から避難している方々のサロン（交流会）を開催しています。

南相馬市・相馬市・新地町などにお住いの方、どなたでも参加できます。

みなさんで情報交換や軽い体操などをしながら、心と体のリフレッシュをしませんか？

※参加無料、申込不要

【時間】午前10時～11時30分（受付：9時40分～）

【場所】南相馬市鹿島保険センター

（住所）南相馬市鹿島区西町3丁目2

☎0244-46-1451

お問い合わせ先：南相馬市健康づくり課 原町保健センター ☎0244-23-3680

相馬広域こころのケアセンターなごみ 南相馬事務所 ☎0244-26-9753

| 開催日 |
|-----------|
| 7月 1日（火） |
| 8月12日（火） |
| 9月 9日（火） |
| 10月 6日（月） |
| 11月10日（月） |
| 12月 1日（月） |
| 1月 7日（水） |
| 2月 2日（月） |
| 3月 9日（月） |

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成26年4月25日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅… 0.17~0.31
- ②福島市 さくら応急仮設住宅… 0.15~0.21
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅… 0.16~0.29
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅… 0.10~1.21
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅… 0.34~0.41
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅… 0.05~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅… 0.07~0.08
- ⑧会津若松市 城前応急仮設住宅… 0.07~0.12
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅… 0.12~0.17
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所… 0.26
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎… 0.15
- ⑫白河市 県白河合同庁舎… 0.11
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎… 0.07

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎… 0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎… 0.13
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎… 0.08



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

| 地区 | 地点 | 平成24年 4月1日 | 平成26年 5月23日 |
|----|---------------|---------------|----------------|
| 新山 | 新山公衆トイレ脇公営駐車場 | — | 1.15 |
| 新山 | 新山公民館 | — | 0.65 |
| 新山 | 双葉町歴史民俗資料館 | — | 0.60 |
| 新山 | 双葉南小学校 | — | 0.75 |
| 新山 | 双葉中学校 | — | 1.05 |
| 新山 | 県立双葉高等学校 | — | 1.27 |
| 新山 | 中央公園 | — | 0.88 |
| 下条 | 双葉総合公園 | 2.60 | 1.51 |
| 下条 | 双葉町役場 | — | 0.71 |
| 郡山 | 郡山公民館 | 1.48 | 0.89 |
| 細谷 | 細谷公民館 | 2.31 | 1.13 |
| 三字 | 三字公民館 | 2.53 | 1.38 |
| 山田 | 山田農村広場 | 24.47 | 12.26 |
| 石熊 | 石熊公民館 | 12.10 | 6.34 |
| 長塚 | 双葉町体育館 | 6.25 | 2.93 |
| 長塚 | 長塚二公民館 | 3.26 | 1.55 |

| 地区 | 地点 | 平成24年 4月1日 | 平成26年 5月23日 |
|----|---------------|---------------|----------------|
| 長塚 | 双葉町青年婦人会館 | — | 3.29 |
| 長塚 | 町西住宅 | — | 0.71 |
| 長塚 | JAふたば北部営農センター | — | 9.51 |
| 長塚 | 双葉北小学校 | — | 2.81 |
| 長塚 | ふたば幼稚園 | — | 2.50 |
| 長塚 | 双葉駅北側駐車場 | — | 1.70 |
| 長塚 | 双葉町児童館 | — | 0.53 |
| 羽鳥 | 上羽鳥 | 1.89 | 1.18 |
| 羽鳥 | 羽鳥公民館 | 1.73 | 0.89 |
| 寺松 | 寺松公民館 | 3.46 | 1.84 |
| 渋川 | 渋川公民館 | 1.48 | 0.79 |
| 鴻草 | 北部コミュニティーセンター | 4.30 | 2.44 |
| 中田 | 中田公民館 | 0.77 | 0.45 |
| 両竹 | 両竹公民館 | 0.54 | 0.31 |
| 浜野 | 浜野公民館 | 0.34 | 0.21 |

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

この時期、夜になると近くの田んぼからカエルの大合唱が聞こえてきます。東京出身のふたさぼメンバーは、福島に来て初めてカエルの合唱を聞いて「感動した」と話していました。そう聞いてからカエルの合唱を改めて聞いてみると、なんだか特別なものを感じますね。

さて、話は変わりますが、昨年11月に創刊した「ふたばのわ」も今月で第8号となりました。今後もこの「ふたばのわ」を町民のみなさんに、より親しみを持ってもらえるような内容にしていきたいと考えています。ふたばのわについてのみなさんからのご意見や感想、とりあげてほしい内容など、下記メールアドレスにお気軽にご連絡いただければと思います。

「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。お名前・出身行政区を記載の上、以下の方法でご送付をお願いします。

【郵送の場合】 〒974-8212 福島県いわき市東田町2-19-4
「双葉町いわき事務所内ふたさぼ」宛

【メールの場合】 info@futabamachi-s.com

(写真例)



ご応募
お待ちしております！

